

2020 年度
国語 (第三回)

2020年度中学入試第3回 得点率

設問		得点率 (%)	設問		得点率 (%)
1 説明文	問1	85.2	2 物語文	問1	67.5
	問2	67.2		問2	19.3
	問3	46.5		問3	44.2
	問4	62.3		問4	85.4
	問5	36.1		問5	28.5
	問6	62.1		問6	46.1
	問7	73.9		問7	98.5
	問8	83.5		問8	58.1

平均点 4科 58点

最高点 4科 86点

最低点 4科 25点

1 出典：斉藤淳『10歳から身につく問い、考え、表現する力 ぼくがイェール大で学び、教えたこと』

問一 概ねできていました。15行目の「そこで海外へ積極的に・・・ということになったわけです。」の一文に気がつけば正解できたと思います。

問二 英語母語者と日本語母語者の二項対立が読めてないがゆえの誤答も目立ちました。

問三 概ね理解していると思われる答案が多かったが、文末が「～から。」となっているものが散見されました。文末処理には気をつけてほしいと思います。「グローバル」「人材」という言葉についての設問であるのに、言葉以外のものを抜き出して説明している答案も散見されました。

問四 抜文補充の問題です。92行目の「一般的な論議」に気がつけば、解答できる設問であったと思われます。どの選択肢にも、本文の言葉が用いられており、迷った受験生が多かったようです。

問五 全体的に、筆者の主張がつかめていないと思われる解答が多かった。筆者独自の意味を述べている最終段落をまとめる問題ですが、75行目の辞書的な意味を抜き出した誤答も多かった。また「価値観」を「価値感」とした誤字もかなり多かったです。

問六 「つまり」と「まず」の使い分け、「そもそも」の用法などが難しかったようです。

問七 (ア) の差異、(ウ) の留意の出来が悪かった。熟語については意味を考えながら書くことが大切です。

問八 問四同様、本文に用いられている言葉を用いた選択肢に迷った受験生が多かったようです。

2 出典：蓮見恭子『襷を、君に。』

問一 「欠伸を噛み殺す」が退屈さをこらえる意味であることに気がつけていない人もいました。

問二 「瑞希が謝らなかったことを河合さんから聞いて、あきれの気持ち」というものが目立った。ここでは、51 行目の「一応心配してくれてはいるようだ。」の部分から先生は瑞希のことを心配していて何とか助けようとしていたのに、それが河合さんの厳しい言葉によってうまくいかなかったゆえのため息です。ため息は、あきれたときばかりではなく、物事がうまくいかないときにもつきます。自分の経験にとらわれることなく読むことが大切です。

問三 河合さんの経験については、115 行目と 117 行目に書かれており、その部分をまとめる設問であったが、あまりできていませんでした。

問四 成句にかかわる問題です。85%とよくできていました。

問五 「許すと思ったら甘い」といったように主語が書けていないものも多かった。また、「許す」というキーワードを含めることができない答案が目立ちました。

問六 正答率が 46%とあまり振るいませんでした。昼休みの南原さんの反応や現在の様子をしっかりと読み取っていないがゆえの間違いと思われます。

問七 擬態語については大変よくできていました。

問八 表現から読み取る問題です。エを選んだ人が多かったが、反感を買っていることの原因は、試合を無断欠席したからです。因果関係をよく考えることも、国語の問題ではとても大切です。